

5/18
1

第41回メーデー！

労働者の団結を打ち固め、6月斗争へ前進しよう！

4、28沖繩斗争に、日学共闘（四単産青年部、学生共闘）千五百の強固な隊列出現！

41回メーデーは春闘の盛りあがり、とりわけ4、28沖繩県協24時間スト、春闘が三波統一行動、4、28沖繩斗争、そして昨日の公労協私鉄総連の24時間全国統一ストライキ斗争を踏まえて行われる。今年のメーデーは70年斗争の本格的開始の斗いであつた四月斗争を受けつぎの目全国一斉ストライキ斗争へと発展させる斗いとして存在する。

現在までの春闘における労働者階級の斗いは五ヶ月賃上げ貫徹をめざした各単産ストライキ斗争を中心とし安保放棄、沖縄核基地撤去全面返還、佐藤内閣打倒のストライキも加わり鋭い政治的対決を追つてゐる。同時に全国金属に代表される統一要求統一交渉統一ストー統一妥結を合言葉にした斗いは産別への斗いの展望をもたうしてゐる。

これら戦場における労働者階級の斗いが、4、28全国五十万の決起として、上回る盛りあがりを見せ政府独占の「沖縄返還」による沖縄核武装の野望に鋭い打撃を与えた。特に大阪では反安保大阪府民共闘、沖縄連主催、一万五千の決起で斗われ全国でも唯一と言われる原則的共同斗争——課題の一致に基く共同をやり抜いた。この4、28の斗いに向けて大阪府民ではストライキを貫徹した。同時に市取、市従、全通、全通連、四単産青年部が全関西の青年労働者、学生に共闘の呼びかけを發し青学共闘を一万五千の規模で実現したことは高く評価せねばならない。

課題の一致を原則とする青学共闘の斗いは戦場、学団における広範な組織された隊列を実現し、一方における「社会共闘」の名による代々木派の組織的排除——セクト主義や、他方におけるトロツキ主義諸集団の街頭極「左」組織破壊の誤りを克服し、6月全国一斉ストライキ斗争への展望を切り拓く現実的部隊として登場してゐる。

戦場、学団の闘いを結合し、沖縄核基地撤去、安保放棄、佐藤内閣打倒を、同じ取ろう！

青学共闘に千名の隊列で結集した全関西学生共闘の部隊は新入生を多数養ひ込み各学団における闘いを展開している。五月二十八日、中教壇は総会を行い大学の目的別格差付再編をめざす答申の準備をすすめている。政府の大学再編の狙いは労働者階級に対する「合理化」と共に70年代在外侵略に向けての国内反動的再編成の一環である。二心から学団、戦場における反動的再編の狙いを粉碎し、労働者、学生が強固な結合を確ち取るなかで、追いつめられに米軍がカンボジアへの介入を開始しアジア全域の平和を脅かしている時、それらの積極的支援と軍力強化、一層の反動化を目指す佐藤内閣打倒する闘いはますます重大になつてゐる。

70年斗争は政府の安保自動延長による政治危機回避の策動を叩きの場の中で粉碎しつゝ進めねばならない。このために総ての階級の闘い——とりわけ組織労働者と学生との戦場闘争を基礎にした斗争を發展させそのなかから6月全国一斉ストライキ斗争を実現させ、全国的斗いの圧倒的昇場のなかで政府独占に鋭い対決を追つていかねばならない。

41回メーデーに参加せよ！主として労働者、学生のみならず、春闘を固め取りつき青学共闘を發展させ6月全国一斉ストライキ斗争を実現せよ！

民主主義学生同盟大阪府委員会